

小樽市新総合体育館ニュースレター

Vol.04

他都市の新しい総合体育館を紹介します

今回は最近オープンした他都市の事例から、青森県「七戸町総合アリーナ」をご紹介します。

令和6年オープンの最新のアリーナ



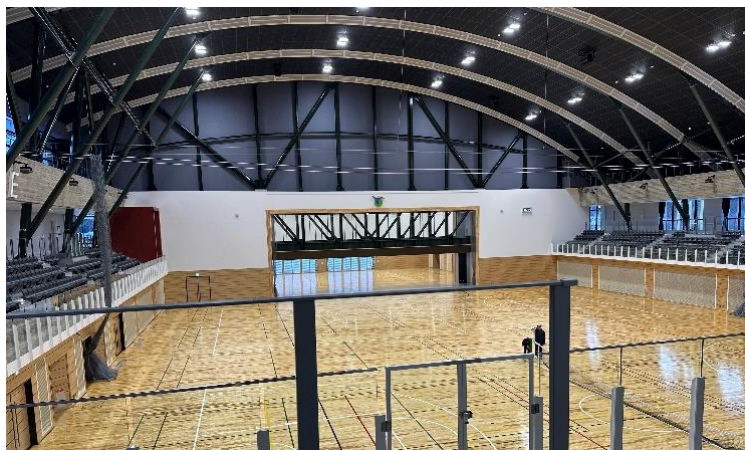
七戸町総合アリーナは、令和6年4月にオープンした東北新幹線七戸十和田駅の目と鼻の先にあり、かまぼこ型の屋根と雪を受け止める大きな庇が特徴の体育館です。

アリーナの規模は、メインアリーナがバスケットボールコート2面、サブアリーナ（多目的室）が1面と、本市の計画とはほぼ同じ内容です。また、メイン・サブアリーナは、可動式の壁で区切られており、壁を開閉することにより、両アリーナを一体で利用することができます。上部のブリッジ内部は左右がガラス張りになっており、両アリーナを眺めながらのランニングや、大会開催時の臨時の観覧スペースなどに活用されています。

トレーニング室は2階にあり、外周部は全面ガラス張りになっているため、明るく開放感のある空間となっています。また、最新のマシンが設



ミックスモール上部のブリッジ内部



メインアリーナ全景。中央にメイン・サブをつなぐ「ミックスモール」が見える。

置され、利用者ニーズが高く「リニューアルオープン後の個人利用者の増加に大きく貢献している」とのことです。また、1と2階にそれぞれ休憩できるようラウンジスペースがあり、館内にはWiFi環境が整っていることから、付き添いや観覧の方も快適に過ごせるよう配慮されています。

冷暖房設備については、メインアリーナ、多目的室の大空間は、風の影響を考慮し冷温水パネル方式とし、その他の諸室は通常のエアコン機器を設置しています。

また、館内には点字ブロック、多目的トイレ、観覧部分には8席分（2×4か所）の車いす用スペースがあり、ユニバーサルデザインに対する配慮が各所に取り入れられています。

今回お話を聞いた担当者の方によると、町外からの利用者も増えたことから、各室は、ほとんど空がないほど予約が入っているそうで、また、市民の方からは「冷暖房設備が完備されて過ごしやすいため、スポーツ以外でも利用している」といった声も聞かれるそうです。



開放的な印象のトレーニングルーム

本市の整備状況

今回は、皆さんにも新しい総合体育館をイメージしていただくために、他都市の事例を紹介させていただきました。今回紹介した設備は、今後設計される新総合体育館で必ずしも採用される訳ではありませんが、こうした事例から得た知識は、今後、整備を進めていく中で生かしていきたいと考えています。

終わりに現在の整備状況ですが、本年1月に設計から建設を担う事業者の公募を開始しています。今後、事業者の選定を行い、12月には契約を結ぶ予定です。事業は着々と進行していますので、皆さま、楽しみにお待ちください。

